

島根知事「悠長だ」批判独自に飲食4人以下要請

「行動制限なし」地方異論

新型コロナウイルスの新規感染者は15日、全国で計10万3931人が確認された。10万人を超えたのは2月5日(10万4163人)以来、2回目。第6波のピークにほぼ並んだ形だが、感染は収まる気配がない。岸田文雄首相は14日に「行動制限は考えていない」とし、基本的対策の勵行を呼びかけたが、感染者が急増している県では強い対策を求める声が上がっている。▼3面

新規感染10万人超

過去最多を更新したのは、本、青森の5県。大阪府で和歌山、福岡、鹿児島、熊は9745人が感染し、10

Table with columns for Prefecture, Infections, Deaths, and Cumulative Totals. Includes entries for Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Fukushima, etc.

入院・療養51万2570人(+5万8501)うち重症107人(+7) (15日午前0時)

総数 1011万9275人(+10万3311) 死者 3万1578人(+31)

感染者数は「疑似症患者(みなし陽性者)」を含む。カッコ内は前日との比較。都道府県と厚労省の発表は一部重複。再陽性は既へ人数で計上。総数はダイヤモンド・プリンセス乗船者を含む

Table showing vaccination rates for 1st and 2nd doses, and cumulative numbers for 3rd and 4th doses.

日連続で前週と同じ曜日2倍以上となった。10万人あたりの感染者数が全国最多の沖縄県では、新型コロナウイルス向け確保病床の使用率が58.1%に上り、入院調整が難しくなることされる水準になっている。池田竹州副知事は14日の会見で「このまま(感染者が)3千人を超える状況だと行動制限を行わざるを得ない」と述べた。

が沖縄県に次いで多い島根県。12日に1日あたりの新規感染者が過去最多の1271人を記録、14日まで3日連続で1千人を超え、15日も950人に上った。政府分科会の尾身茂会長が11日、まん延防止等重点措置のような行動制限は現時点で必要なく、基本的対策で乗り越えるのは可能と述べたのに対し、丸山達也知事は12日の会見で「なんでもこんなに悠長なのか」と批判。「何の行動制限もなしに、この感染の大きな波を乗り越えられる」という判断を疑問に思わないのか。客観情勢が明らかになってきたから行動するというのは、リスクマネジメントとしては最低最悪、失敗の典型パターンだ」と指摘した。また、「政治的に翻案すれば、まん延防止等重点措置は(政府の)視野に入っていないということ。無駄な交渉をしても仕方がないので、県内でできる努力を進めていきたい」と述べ、飲食店利用時の人数を4人以下(限地域以外)とするよう要請するなど、独自の対策を進めている。

大阪 入院は原則中等症以上 知事、行動制限には否定的

その他の都府県からは、政府方針におおむね理解を示す声が相次いだ。大阪府の吉村洋文知事は15日、記者団に「二人一人に感染対策をお願いすることのできるだけ抑えたい」と話した。従来、行動制限に否定的な立場で、今週も11日に「飲食店など一部に犠牲を強いても大きな感染拡大防止にはならない」と述べていた。ただ府は15日、感染のさらなる拡大を想定して入院対象を絞ることを決めた。中等症以上を原則とし、重症者は医師の個別判断に委ねる。

愛知県の大村秀章知事は15日の記者会見で、飲食店などへの時短の要請は「県だけでは判断できない」とし、イベントなどの定例規制は「経済に対するダメージが非常に大きい」と否定的な考えを示した。東京都の小池百合子知事は15日、ワクチン接種会場や高齢者向け診療施設の増加など追加対策を発表した。